

第二十七回 鞆の浦 新春能楽祭

令和四年一月三日(月)十二時始

沼名前神社 福山市鞆町

奉納番組

地謡

素謡 翁 大島政允

千歳 大島伊織

男性組

仕舞 高砂 大島衣恵

男性組

仕舞 羽衣 大島政允

女性組

仕舞 福山 大島伊織

女性組

主催 福山喜多会

お問合せ 喜多流大島能楽堂

☎ 084 (923) 2633

http://www.noh-osshima.com

*鑑賞無料です

沼名前神社能舞台 (国の重要文化財)

豊臣秀吉が移動式能舞台として造った舞台。

福山城築城時、徳川家康より福山初代藩主・水野勝成が伏見櫓と共に譲り受け、福山城内外にて演能に使用。三代目水野勝貞の時に沼名前神社に寄進され、固定舞台となり現在に至っている。

喜多流の流祖喜多七太夫は七才で豊臣秀吉の前で能を舞い、七太夫の名を拝領。

徳川二代将軍・秀忠により喜多流は一流の樹立を許された。

徳川幕府は能楽を式楽と定め、幕府や各藩内での重要な儀式には能楽を催した。

福山喜多会・大島家では平成七年、大島壽太郎作の能「鞆浦」を約八十年ぶりに再演、石碑を再建して以来、毎年一月三日、能舞台での奉納が続けている。